

「在宅医療・介護連携推進における 八代地域の取組みについて」

～医師会と行政との連携～



八代地域在宅医療・介護連携支援センター

【本日の流れ】

1. 八代地域の概要について
2. 八代地域の医療・介護連携への取組みの経緯について
3. 八代地域の在宅医療・介護連携推進事業取組み状況について
4. 結びに...

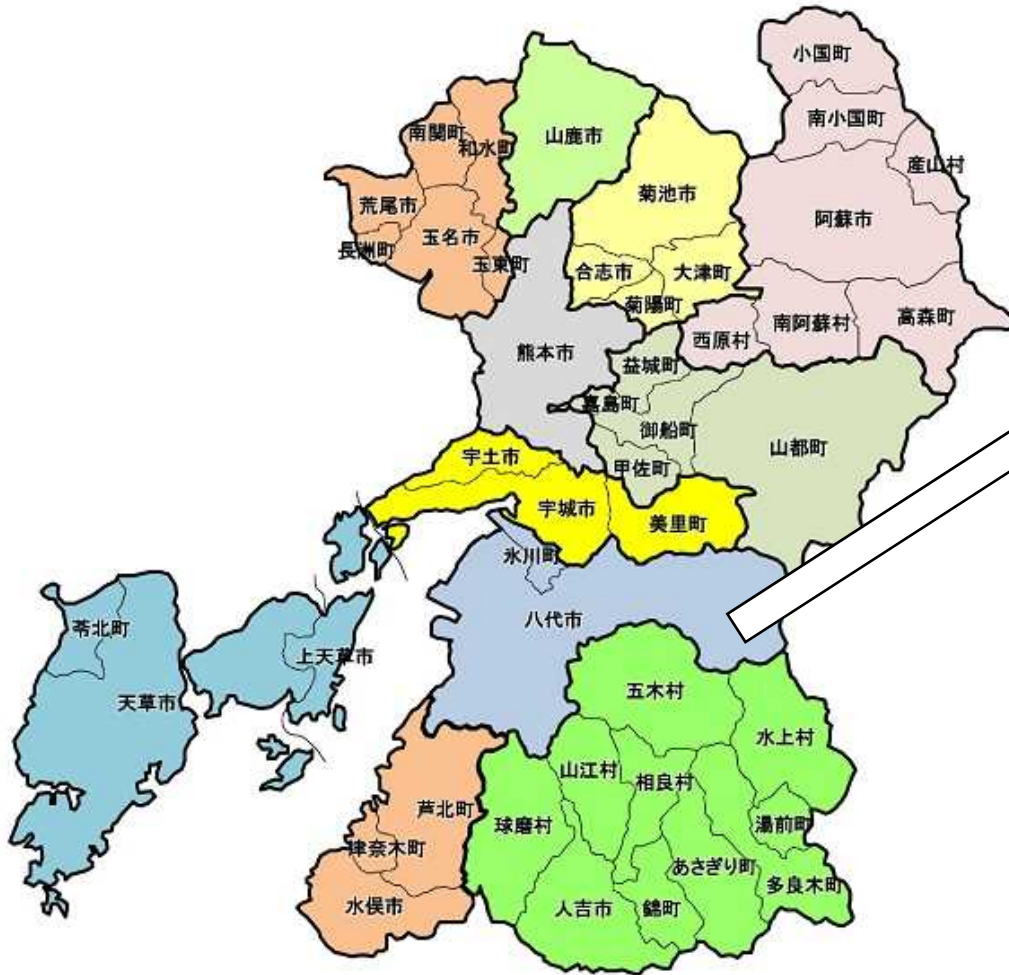
1. 八代地域の概要について

2. 八代地域の医療・介護連携への取組みの経緯について

3. 八代地域の在宅医療・介護連携推進事業取組み状況について

4. 結びに...

熊本県市町村位置図



八代市・氷川町



【八代市】

平成17年8月1日、旧八代市と旧八代郡内の千丁町・鏡町・坂本村・東陽村・泉村の1市2町3村が合併し誕生

【氷川町】

平成17年10月1日、竜北町と宮原町が合併し誕生

【八代市医師会】 旧八代市を管轄

【八代郡医師会】 旧八代郡と氷川町を管轄

八代地域の概要①

	八代市	氷川町	備考
面積	約681km ²	約33km ²	H27.10.1現在
総人口	126,758人	11,866人	H28.10.1現在
65歳以上人口	41,095人	4,282人	
うち75歳以上人口	22,260人	2,370人	
高齢化率（65歳以上）	32.4%	36.1%	
要支援・要介護認定者数 （第1号被保険者）	8,166人	814人	H28.9月末現在
認定率	19.8%	19.1%	
介護保険料基準月額 （第1号被保険者）	5,800円	5,500円	第6期（H27～29）

「面積」：国土交通省国土地理院「H27年度全国都道府県市区町村別面積調」による

「総人口」以下は、熊本県健康福祉部長寿社会局「高齢者関係資料数～H29年3月～」より抜粋

八代地域の概要②

		八代市	氷川町	備考
医療施設数	病院	13		H28.4.1現在
	診療所	133		
	(うち有床診)	(34)		
	歯科診療所	75		
病床数		2,321		
地域包括支援センター		6	1	H29.4.1現在
介護老人福祉施設 (地域密着型介護老人福祉施設)		11 (3)	3 (1)	H29.2.1現在
介護老人保健施設		8	1	
介護療養型医療施設		4	0	
グループホーム		17	3	
有料老人ホーム		59	3	

「医療施設数・病床数」：「熊本県医療構想～H29.3月～」による

「介護老人福祉施設」以下は、熊本県健康福祉部長寿社会局「高齢者関係資料数～H29年3月～」より抜粋

1. 八代地域の概要について

2. 八代地域の医療・介護連携への取組みの経緯について

3. 八代地域の在宅医療・介護連携推進事業取組み状況について

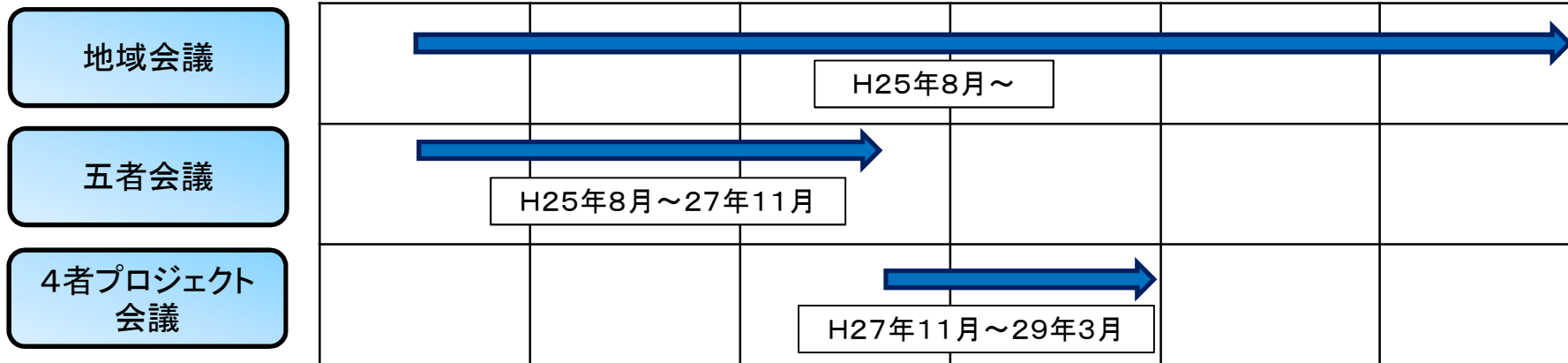
4. 結びに...

八代地域の医療・介護連携への取組の経緯

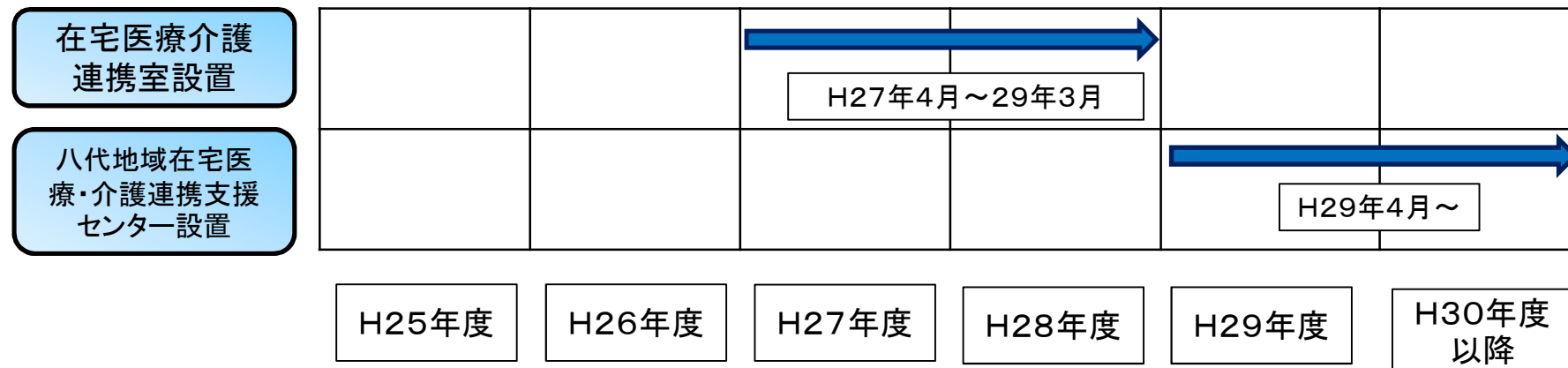
時 期	内 容	備 考
H25年8月～	八代地域在宅医療連携体制検討会議 (通称：地域会議)	事務局：県八代保健所
H25年8月 ～27年11月	八代地域在宅医療等推進検討委員会 (通称：五者会議)	事務局：八代市医師会
H25年12月 ～28年3月	在宅医療拠点事業	実施主体：八代市医師会 八代郡医師会
H26年8月 ～28年3月	在宅医療介護連携推進モデル事業	実施主体：八代市
H27年4月 ～29年3月	在宅医療介護連携室設置 (八代市健康福祉政策課内)	
H27年11月 ～29年3月	八代地域在宅医療介護支援プロジェクト会議 (通称：4者プロジェクト会議)	事務局：八代市在宅医療 介護連携室
H28年10月	「在宅医療と介護の連携に関する協定書」 締結式	
H29年4月～	八代地域在宅医療・介護連携支援センター 設置 (八代市健康福祉政策課内)	

八代地域の医療・介護連携推進に向けた体制づくり

〈会議体〉

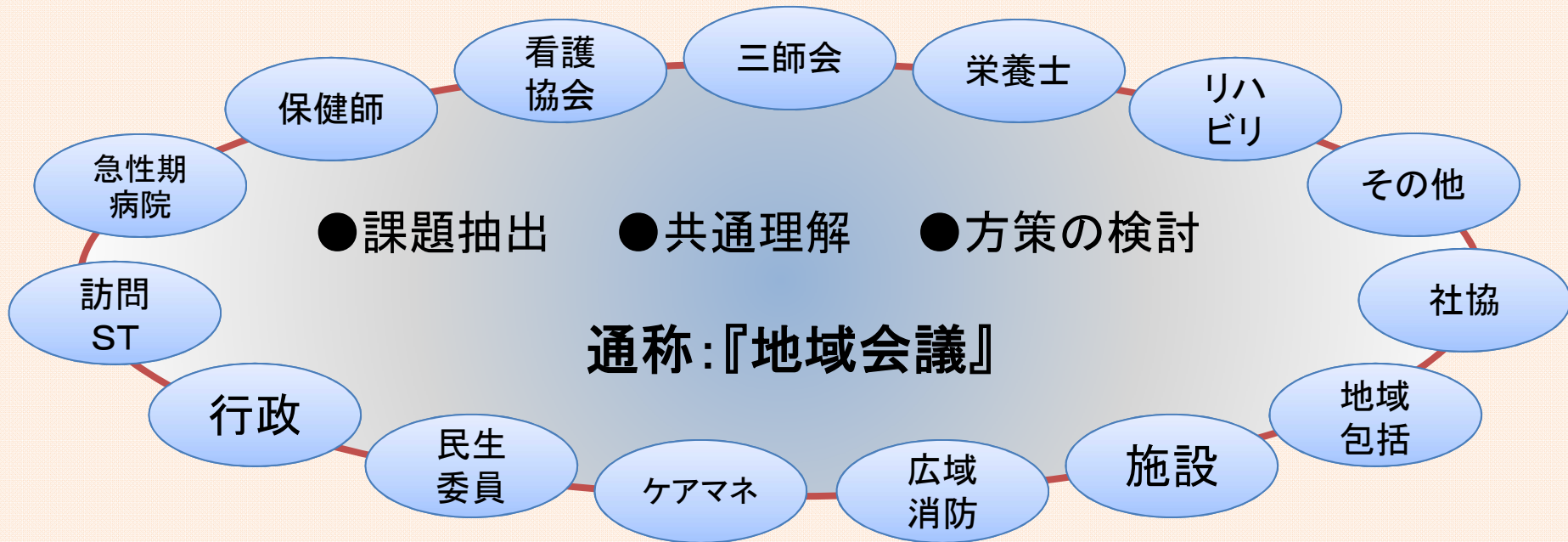


〈組織名〉



「八代地域在宅医療連携体制検討会議」

八代地域在宅医療連携体制検討会議 (代表者)

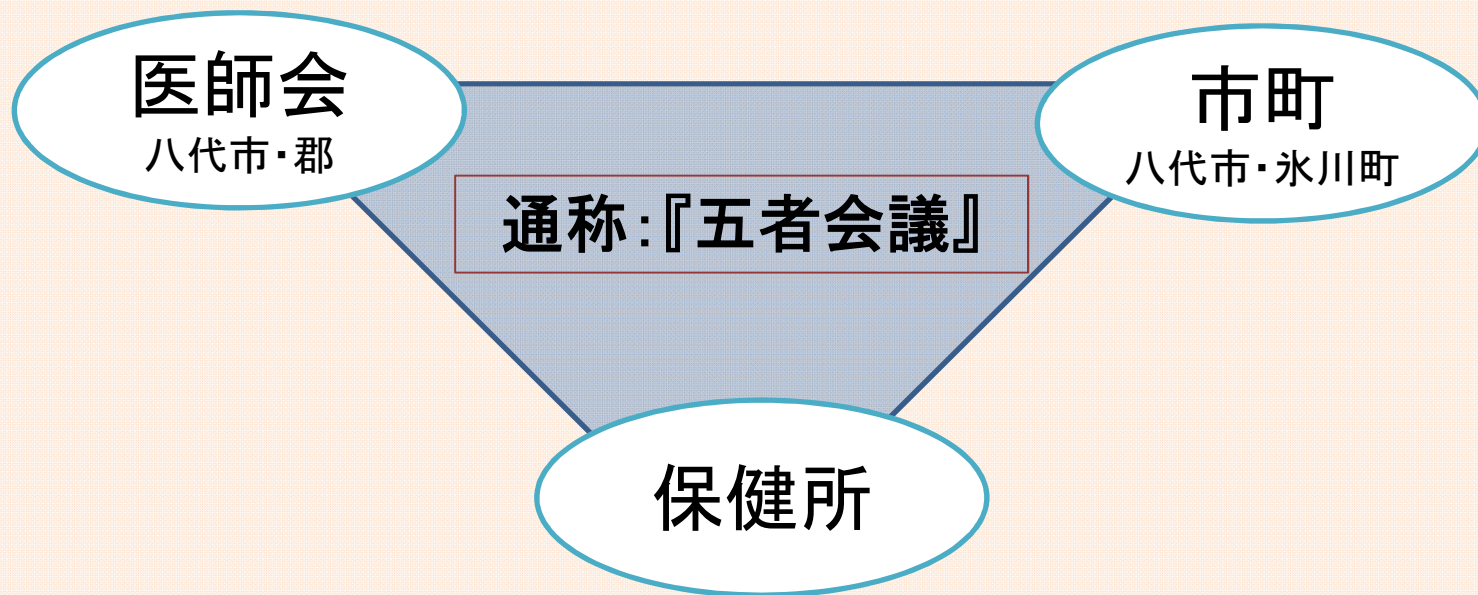


○平成25年8月発足 ○事務局:八代保健所
○年2回開催 ○25団体で構成(現在:27団体)

「八代地域在宅医療等検討委員会」

八代地域在宅医療等推進検討委員会

(実務者)



○平成25年8月発足 ○事務局:八代市医師会

○隔月ペースで開催

- * 地域会議への議題の事前協議
- * 講演会・研修会の企画・実施
- * 先進地視察研修

「五者会議」の構成

〈五者会議〉

八代市医師会

- ・副会長
- ・理事
- ・事務局長

八代郡医師会

- ・副会長
- ・理事
- ・事務長

八代市

- ・政策調整審議員
- ・健康福祉政策課長
- ・長寿支援課長

氷川町

- ・健康福祉課長

八代保健所

- ・総務企画課長
- ・保健予防課長

〈五者会議WG〉

八代市医師会

- ・事務局

八代郡医師会

- ・医師会立病院事務局

八代市

- ・健康福祉政策課
- ・長寿支援課のスタッフ

氷川町

- ・健康福祉課のスタッフ

八代保健所

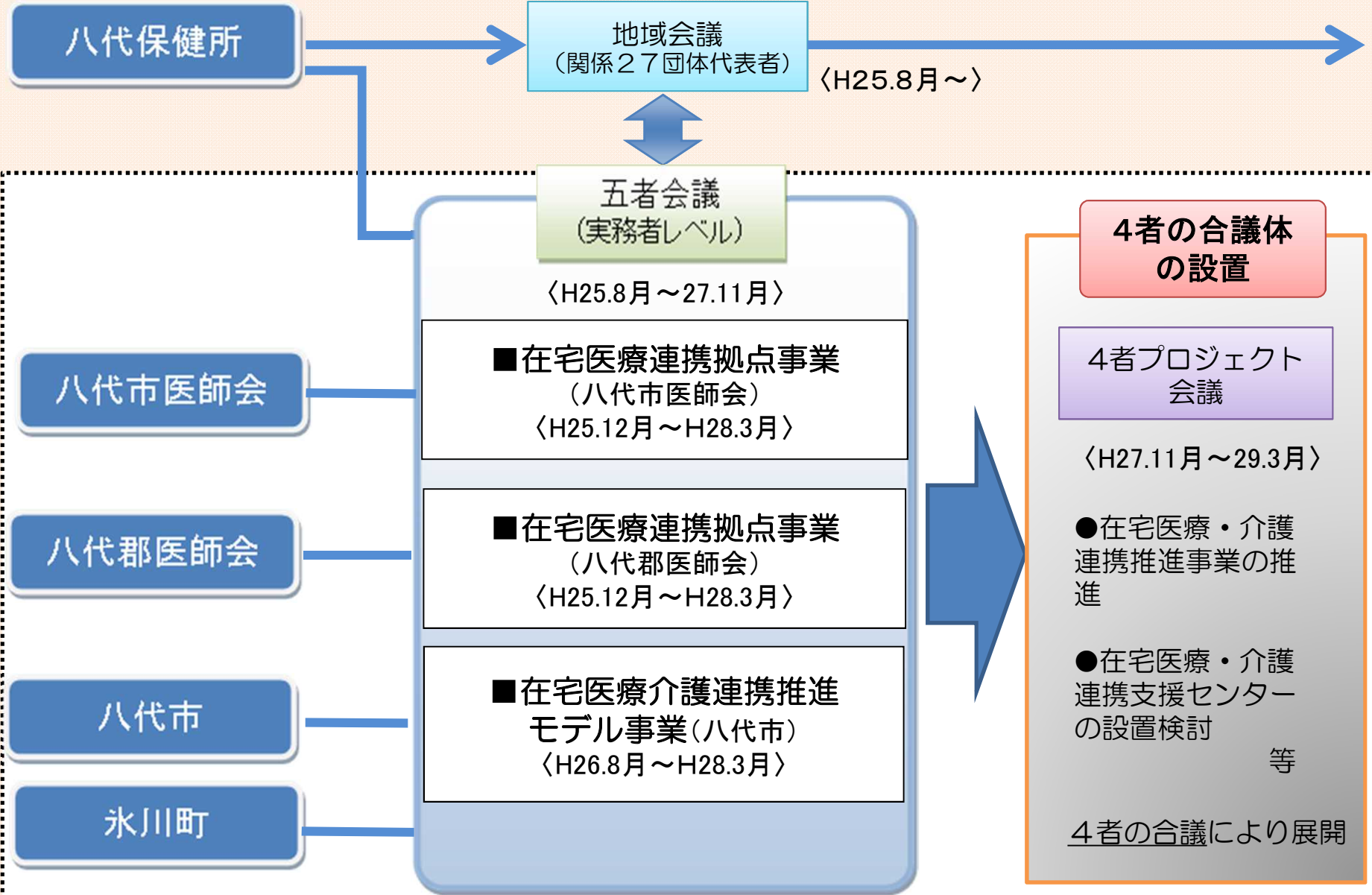
- ・八代保健所のスタッフ

- オブザーバー
(必要に応じて参加)
- ・健康推進課
 - ・市立病院事務局

※五者会議への議題の事前協議

- ・講演会、多職種研修会、先進地視察研修の企画案などの事務的な調整を行う。

「五者会議」から「4者プロジェクト会議」へ



「4者プロジェクト会議」の構成

	八代市	氷川町	八代市医師会	八代郡医師会
プロジェクト会議 (4者トップ会議)	市長（副市長） 健康福祉部長 (次長)	町長（副町長） 健康福祉課長	会長 副会長	会長 副会長
幹事会 (4者幹事会)	政策調整審議員 健康福祉政策課長 長寿支援課長	健康福祉課長	担当理事 事務局長	担当理事 病院事務長
作業部会 (4者WG)	関係職員 (課長補佐以下)	関係職員 (課長補佐以下)	事務局長 事務局職員等	病院事務長 事務局職員等

【事務局】 八代市・氷川町の合同事務局とし、八代市在宅医療介護連携室に置く。

＜事務局長＞八代市健康福祉政策課長 ＜事務局次長＞氷川町健康福祉課課長補佐

「在宅医療と介護の連携に関する協定書」締結式



2016.10.22

中村
八代市長

藤本
氷川町長

木脇
八代保健所長

田淵
市医師会長

保田
郡医師会長

「在宅医療と介護の連携に関する協定書」（抜粋）

（目的）

第1条 本協定は、4者がそれぞれの有する機能を活かし、相互に連携・協力することにより、高齢者が住み慣れた地域で人生の最期まで自分らしく安心して暮らすことができるよう、医療と介護の連携による一体的な提供のための体制の構築を推進することを目的とする。

（連携事項）

第2条 4者は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携・協力して取り組むものとする。

- (1) 地域の医療・介護の資源の把握
- (2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (3) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- (4) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (5) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (6) 医療・介護関係者の研修
- (7) 地域住民への普及啓発
- (8) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
- (9) その他在宅医療・地域包括ケアシステムの推進に必要な事項

2 八代地域の医療圏域内における前項の取組（以下「在宅医療・介護連携推進事業」という。）を円滑に推進するため、八代市に八代地域在宅医療・介護連携支援センター（以下「支援センター」という。）を置き、4者の人員を従事させる。

3 支援センターが行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業の企画及び実施
- (2) 医療・介護の資源の情報管理
- (3) 支援センターを補助する組織の統括及び支援
- (4) その他在宅医療・介護連携推進事業に関し必要な事項

「4者プロジェクト会議」から「八代地域在宅医療・介護連携支援センター」へ

4者プロジェクト会議

(H27.11月～)

- 4者トップ会議
(1回開催)
- 4者幹事会
(11回開催)
- 4者WG
(21回開催)

◎H28.10月
「在宅医療と介護の連携
に関する協定書」締結

八代市医師会

八代郡医師会

八代市

氷川町

「八代地域在宅医療・介護 連携支援センター」

【設置時期】平成29年4月

【人員体制】6名体制

○市職員3名

○氷川町からの出向職員1名

○市・郡医師会からの出向職員
各1名

【設置場所】

八代市健康福祉政策課内

【業務内容】

- 在宅医療・介護連携推進事業
の企画・実施
- 医療・介護資源の情報管理
- 支援センターを補助する組織
の統括・支援 等

1. 八代地域の概要について

2. 八代地域の医療・介護連携への取組みの経緯について

3. 八代地域の在宅医療・介護連携推進事業取組み状況について

4. 結びに...

八代地域の在宅医療・介護連携推進事業の取組み

五者会議

保健所
市医師会・郡医師会
八代市・氷川町

H25.8

4者プロジェクト

市医師会・郡医師会
八代市・氷川町

H27.11

在宅医療・介護連携支援センター

市医師会・郡医師会・八代市・氷川町

H29.4

■在宅医療連携拠点事業（市医師会）

- 多職種連携研修会
- 専門職研修会
- 専門職向け講演会
- 先進地視察研修
- 市民フォーラム など

■在宅医療連携拠点事業（郡医師会）

- 多職種連携研修会
- 地域住民セミナー
- 市民フォーラム
- 先進地視察研修 など

■在宅医療介護連携 モデル事業 （八代市）

- ケアマネ研修会
- 意見交換会
- 資源調査
- 市民意識調査
- 住民向け広報 など

H25.12 H26.8

H28.4

在宅医療・介護連携推進事業

介護保険の地域支援事業
平成28年度～

在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の中核的医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

○事業項目と取組例

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

（キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

（カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

八代地域の取組み状況

在宅医療・介護連携推進事業 8 項目対応一覧①

○=継続 ■=H29新規

事業項目	H29年度事業計画	内 容
(ア) 地域の医療・介護資源の把握	○八代地域医療介護資源調査検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・病院地域連携室案内更新 ・有料老人ホーム案内調査作成、配布 ・ケアマネ案内作成 ・医療資源調査
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	■在宅医療・介護多職種連携検討会設置に向けた検討WG	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の共有や解決策に向け、関係機関と連携した体制構築に向けた検討会設置に向けた検討
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供の構築推進	■在宅医療推進に向けた意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護STを中心に構成し、在宅医療に係る現状と課題をもとに解決策を協議
	○脳卒中連携会議	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中連携パスを活用し、関係機関相互の医療情報共有に向けた協議
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	■情報共有検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・病院地域医療連携室を中心に構成し、医療介護関係者の情報共有に向けた検討

八代地域の取組み状況

在宅医療・介護連携推進事業 8 項目対応一覧②

○=継続 ■=H29新規

事業項目	H29年度事業計画	内 容
(才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	■在宅医療介護連携支援センターにおける相談支援	
(カ) 医療・介護関係者の研修	○八代地域医療・介護多職種連携研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎編（講話、同職種間での事例検討によるグループワーク） ・実践編（多職種間での事例検討によるグループワーク） ・フォローアップ編（多職種連携による事例に基づく研修、ケアカフェ）
	○マッシュアップ研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・関係職種が連携するうえで必要な業務内容や連携方法について事例を交えた研修会
	○在宅医療推進に係る検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進に向けた医師を対象とした検討会
	○八代・氷川在宅医療従事者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療に携わる医療系従事者を対象とした研修会
	○高齢者関連施設管理者セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設事業の経営者、管理者を対象としたセミナー

八代地域の取組み状況

在宅医療・介護連携推進事業 8 項目対応一覧③

○=継続 ■=H29新規

事業項目	H29年度事業計画	内 容
(キ) 地域住民への普及啓発	○地域包括ケア推進住民講演会	・住民が興味・関心を持ちやすい身近な話題をテーマにした講演会の開催
	○住民向け周知用チラシの作成・配布	・氷川町、八代市合同で広報誌折込み
	○出前講座	・老人会等の会合を利用した住民向け出前講座の実施 ・地域包括支援センターと連携した出前講座の開催（圏域ごと）
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	■八代地域在宅医療・介護連携支援センターの設置	・八代地域在宅医療・介護連携支援センター運営協議会
◇ その他の取組み	■相談支援窓口（サポートセンター〈仮称〉）設置に向けた検討	

1. 八代地域の概要について

2. 八代地域の医療・介護連携への取組みの経緯について

3. 八代地域の在宅医療・介護連携推進事業取組み状況について

4. 結びに...

結びに…①

医師会と行政との連携

- 市町村は、医療行政に明るくない。
- ⇒これまでの流れは“医療＝県（保健所）”
- ⇒介護行政には明るいが、医療行政は未知の分野



- 医師会は地域包括ケアシステム構築の要
- 医師会が“できること” “できないこと”
- 行政が“できること” “できないこと”
 - お互いが補完できる関係が重要！

結びに…②

医師会からのアプローチにより、五者会議を通して、研修会・先進地視察等を共同で企画・実施する中で、“顔の見える関係”が構築された。

医師会と行政との役割分担

- 〈医師会〉 医療・介護者向け研修会、住民講演会等の講師・座長
- 〈行政〉 医療・介護者向け研修会、住民講演会等の企画・準備、住民への普及啓発

結びに…③

最初は「地域包括ケアシステム」という言葉さえ知りませんでしたでしたが、この業務に取り組んで、5年目を迎えました。



それでも、まだ、道半ば…
ゴールは、まだまだ、見えていません。
今後も、地域包括ケアシステム構築に向け、「八代モデル」の在宅医療・介護連携システム実現を目指し頑張っていきます。